

R3年度 八乙女小学校 通学路対策箇所図



【対策検討メンバー】
 ・教育委員会、学校(学)
 ・道路管理者(道)
 ・警察署交通課(警・交)

(八乙女小1)
 信号機のない横断歩道。1日を通して交通量が多い。歩道はあるが、街路樹に遮られ、信号待ちをしている児童が見えにくい。市道を通行する車が一時停止をしない場合が多く見られ、危険である。

＜対策内容＞
 ・児童への交通安全指導・注意喚起(学)
 ・低木の剪定強化(公園課)
 ・歩道の除草(道・公園課)
 ・交通指導取締り(警・交)

(八乙女小3)
 朝夕の交通量が多い。変則的な十字路のうえ、北進する車線は交差点直前までカーブのため見通しが悪い。通行する車も速度が出ている場合が多く、危険である。

＜対策内容＞
 ・児童への交通安全指導・注意喚起(学)
 ・下り車線に減速ドットラインの新設(道)

(八乙女小2)
 信号機のあるT字路交差点。県道は、1日を通して大きさを問わず大小さまざまな車の交通量が多く、中には速い速度で走行する車も見られる。さらに信号が変わる際にも減速せずに通過する車も見られ、はねられる交通事故も発生している。毎朝地域ボランティアが立ち、交通誘導をしている。

＜対策内容＞
 ・児童への交通安全指・注意喚起(学)
 ・交差点内の高木の伐採(道)
 ・信号秒数調整(警・交)

(八乙女小4)
 北根3丁目交差点と南光台小学校入口とを結ぶ市道の十字路交差点。近年南光台トンネルの開通等により、交通量が増加している。道幅が広いため、速度を出して通る車が多い。見通しは良いが、黄色信号でも通過しようとする車が多く、児童が横断する際は危険である。

＜対策内容＞
 ・児童への交通安全指導・注意喚起(学)

— : 通学路
 ● : 交通対策箇所

